

自分を変える まわりが変わる 未来も変わる

knocks

ノックス菓

プログラム
ピックアップ

*

『特性理解』

*

Vol. 2
2019 Summer

特集1

スタッフインタビュー

〜働くこととモノづくり〜

特集2
職場拝見

特集3
イベント覗き見隊!

プログラムピックアップ②
特性理解-----1

特集1
スタッフインタビュー
～働くこととモノづくり～-----2

特集2
職場拝見 -----3

特集3
イベント覗き見隊！-----5

お知らせ -----6

向日葵-----6

プログラムピックアップ② 特性理解

特性理解プログラムでは、グループワークを通して他者との共通点や違いを発見しながら自身の特性への気づきを増やす事、特性から生じる困りごとへの対処方法を得る事を行っています。困りごとの対処方法を一人で考えるのではなく、色々な人と話してアイデアを得て、困りごとや苦手な事との付き合い方のコツを見つけていくプログラムです。

プログラムは今回シリーズで、テーマごとに自分の特性理解を深めます。各回のプログラムでは、当日のテーマに沿ってグループでの話し合いをしながら、気づいた事を自分のワークシートにまとめていきます。

例えば、「暗黙のルールがわからない」という困りごとのある人がいます。業務開始の数分前には席につく、共有の机には自分のモノを置かない、など職場では色々な暗黙のルールがありますが、多くの場合自分で気づく必要がありません。特性としてそういったルールに気づけないと、悪気はないのにルールを守ることができず、「あの人はマナーが悪い」などと職場での評価が悪くなってしまいます。

グループワークでは、そのような自分の困りごとと同じグループのメンバーに話してもいい、肯定的に傾聴してもらいます。他者に聞いてもらう事で、自分の特性を自分で認めやすくなり、客観的な自己理解が進みます。また、「先輩に聞きながら職場でのマールをつくってみては」と、困りごとを緩和するための対処アイデアも出してもらえます。グループワークで気づいた事は、



プログラム中にワークシートに記入し、このワークシートは、「他人」と「自分」ではなく、「過去の自分」と「今の自分」を比較するために記入していきます。

誰にとっても「自分がこんなところがあったのか」と気づく事ができる場になっているので、就職に向けて自分の事をもっと深く知りたい、自分の特徴に合った仕事を見つけたたいという人にはオススメです。

特集1 スタッフインタビュー (藤谷編) 働くこととモノづくり

「働く」とは藤谷さんにとってどんなものですか？

「生物全てが絶対にやらなくてはいけないもの」です。雇用されてお金をもらうだけが働くのではなく、植物だったら光合成することも働くということ。絶対に必要なものであるからこそ「働く」には幸せも必要だと思います。

仕事などの部分に幸せを感じますか？

一番は頼ってもらふこと。頼られて誰かの役に立つ、そして最後に「ありがとう」がもらえることが幸せにつながって考えています。

モノづくりの魅力は何ですか？

以前、ソフトウェア開発に携わっていました。モノづくりはすごく大変で苦労がありました。ソフトウェアで言えば、開発当初には数



モノづくりの過程での苦しさは完成時の喜びと比例しますね

千あるエラーを一つ一つ修正していき、何年か経って完成した時に初めて大きな喜びがあるものです。モノづくりの分野では頼られる以外に「完成」という幸せが味わえるので、それはすごく魅力です。

「ノックスのプログラムで「モノづくり」があります。どんなことを大切にしていますか？

①手順を守る、②役割分担、③創意工夫という3点です。手順とは、先輩達が失敗して苦労しながらできたもの。先輩達の知恵の結晶である手順を、まずはその通りやってみることを意識してほしいです。次に役割分担です。会社で自分が携わることができている仕事はたくさんある工程の中のごく一部。だからこそ役割分担が必要で、自分の役割を果たすことの大切さを知ってほしいです。最後の創意工夫ですが、これは業務改善につながります。仕事の効率を上げるために、普段やっている業務の中に何か工夫できるものではないかと常に探っていく視点が必須です。それを身に付けてほしいと考えています。

プロフィール 藤谷 (ふじたに)

ノックス英設立メンバーで施設長。
前職でSEだった経験を活かし希望者に向けて時間外でプログラミングの基礎を学ぶ講座を月2回開催。講座での気づきがきっかけとなりIT関連への就職へ結びついた例も。

特集2 職場拝見

株式会社 ギャレットさん

今回訪問した株式会社ギャレットさんは、国内外で服飾雑貨の企画・生産・卸を展開している企業です。現在は積極的に障害者雇用に取り組み、ノックス葵の卒業生も活躍していますが、取り組み始めた3年前は何から始めていいのかわからない状態だったとのこと。障害者雇用をどのように進め、会社の雰囲気はどう変わったのでしょうか。ノックス葵の卒業生の働きぶりも交えて聞いてみました。



上：事務所での作業風景。承早いテンキーさばきで正確にデータを入力していきます。間違防止の「定規」も必須アイテム。わからないことがあれば、すぐにスタッフさんに確認します。
下：倉庫での作業風景。検針器に出荷前の商品を通して、お客様のものに安全に届けられるようチェックしていきます。



インタビューを快く引き受けてくださったスタッフさんたち。普段からKさんの様子を気にかけていただけていることが、その言葉からもたくさん伝わってきました。

ノックス葵の卒業生Kさんの働きぶりには？
誠実の一言です。入社当初はとても緊張していましたが、こちらが仕事の説明をずるずるに聞く姿勢ができていたのが印象的で、指示通りに非常に丁寧に仕事をこなしていました。初めて検品の作業を依頼したときには、「ここを注意してみてね」と教えたところでない部分の細かい文字のミスに気づいて報告してくれ、その姿勢に信頼がおけると感じました。

今は仕事に慣れてきて、手が空いた時には、「次にやることありますか？」と周りに声をかけたり、わからないことは「これ、おかしいと思うんですけどどうですか？」とコミュニケーション

ご家族より

自分に任せられている仕事があることで、以前よりも自信を持っている様子が伝わってきますし、「今日は何んかことで褒められた！」と職場の話を楽しくするようにしてくれるので、それを聞くのが家族の楽しみです。
今こうして充実した社会人生活を送っているのが職場の皆さんのおかげであることは忘れてほしくないですね。

ニケーションが徐々に取れるようになって会社に馴染んできています。それは、仕事に価値を感じてもらっています。Kさんは自分の強みも弱みも把握しているの、強みは引き続き活かしているつもり、弱みの部分は少しも克服できるように我々社員でサポート体制をつくります。成長してほしいなど思っています。長い目で見てその次のステップとしては、社会人として自立できる人間になれるようアプローチしていきたいです。

障害のある方と働くことへの会社の考えかたや現場の変化は？

3年前から障害者雇用に対してアプローチをしてきました。法律のことや障害のことを勉強し、様々な会社の成功例と失敗例を学ぶうちに、「障害のある方をどう扱うか」ではなくて、雇う側の意識と現場の従業員の意識をどう変えていくか、これが重要だと感じました。

では、将来の自分像は？

将来像と言われるとあまりイメージができませんが、1〜2年後のことを考えたら、今は勤務時間を延ばすことが目標です。今は一日5・5時間の勤務ですが、体力をつけて7・5時間まで増やしていきたいです！

変えなくてはいけないという結論に至りませんでした。

障害のある方と働くということに対する心のハードルをなくすためにはどうしたらいいかを考え、まずはA型事業所に値付けなどの加工を依頼しました。およそ1年かけて障害のある方へのアプローチ方法を模索し、その後施設外就労という形でA型事業所の利用者さんを現場に受け入れ、従業員と一緒に作業をする環境を作りました。すると徐々にご自分の方が社内にいることが当たり前になっていきました。管理職以上の意識も変わりました。

今思えば、「この当たり前」という意識が障害者雇用の第一歩でした。今では障害者・健常者という枠で考えなくなり、得意不得意は誰

卒業生のKさんにもお伺いしました
（Kさんは、高校卒業後すぐにノックス葵の利用を開始。トラライアル雇用を経て、就職から1年経過後に正式に入社して以前の自分と大きく変わったところは何ですか？）
働くことに自信を持ってたことが一番大きいですが、私がギャレットに必要な人材になれていることが自信につながりました。

高校時代にアルバイトに挑戦したことがあるのですが、面接は通ったのに2週間の試用期間で不採用になってしまったんです。その時



住宅街の中にある、とってもおしゃれな建物です。お忙しい中お邪魔したにもかかわらず、働いていらっしゃる皆さんが素敵な笑顔で迎えてくださいました。ありがとうございます！



事業所説明会

2019年7月27日(土)
10:00~12:00

毎回好評をいただいている
ノックス装の事業所説明会を7月も開催します。
将来的な利用に関しては全く未定の方でも
就労移行ってどんな場所なんだろう?と
ご興味を持たれたら、是非遊びにきてください。
きっと何か「気づき」を持ち帰っていただけますよ!

場所：ノックス装（名古屋市東区葵3丁目12番7号）

内容：事業所説明
利用説明
プログラム体験

対象：ご利用を検討されている方
当事者のご家族など



本誌裏表紙にノックス装の詳細を記載しております。
参加希望やお問合せは、電話・メールにてお気軽にどうぞ。

向日葵 ①



「運動会は熱出したい、マラソン大会の日はお運環したい、走るの大々大キラライ！」
そう思いつつ学生時代を過ごしました。そんな私が3年前から週一でスロージョギングをしています。きっかけは会社のスロージョギングが結成されたこと、三日坊主の私が続けられているのには理由があります。それはベナルティ。休んだ日には罰金があるのです。そのおかげで、ノックス装で年に一度参加しているリレーマラソン大会に出場することができました。最近では走った後に「飯を食べて帰るのが定例化し、密かに『小走りでご飯に行く部』なんて呼ばれたりもしています。」
ノックスには定期的にスポーツをしているスタッフがいます。筋トレにマラソン、ヨガにチベット体操。そんなスタッフたちを見習い、今度は《ヨガ部》にも参加。こちらは月一回の開催。定期的にヨガに通っているスタッフが講師となって行っています。私を含め身体の硬いスタッフは、時々うめき声を出したり、筋力不足のせいで走りましたが、終わっただけの爽快感は格別。元気に働くために、そして遊ぶためにも、健康体を目指したいと思います！

(スタッフ 加藤)

イベント覗き見隊！

特集3



ノックス卒業生が集まる場として、毎月1回土曜日の午前中に開催しているお茶会。もちろん現役メンバーさんも参加可能ですので、両者の交流の場となっています。その「お茶会」を進化させて仕事帰りの卒業生を『おかえり～!』と出迎えようとする夕方に《ノックスプレミアムフライデー》(Knocks Premium Friday：略してKPF)と称したカラー作り&交流会を開催しました。

午後のプログラムが終了した後、十五時半よりカラー作りを開始。スタッフが作成したタイムスケジュールと手順書を元に、現役メンバーさんが中心になって作業を進めました。炊いたお米は三十五合。カラー一本は3個、使ったルーは4箱！
仕込みだけでも大変な量でしたが、全員で協力して2時間で完成。その間に仕事を終えて続々と駆け付けてくる卒業生たちを、「おかえり～!」と出迎えました。お茶会の時はラフな格好の卒業生も仕事帰りのでピシッとスーツで来所。いつもとは違った雰囲気です。卒業生がテーブルセッティングを手伝いながら、十七時半に全員そろって「いただきます!」。そこからは現役メンバーさん、卒業生、



スタッフが入り交じってわきあいあいどカラーをいただきました。一週間の仕事が終わったという金曜日の夜のホッとした気持ち、懐かしい仲間へ会えたという嬉しい気持ち、ノックス内で夕食を食べる特別感・・・そういったスペシャルなスパイスが加わったカラーが相当おいしかったのか、1人で4皿食べたツワモノもいました。おかげで、あんなに買ったご飯とカラーはキレイさっぱり完了。
一回KPFは大盛況に終わりましたので、今後も定期的に開催していきたいと思っております。
次のKPFは何を作ろうか・・・と密かに作戦会議が進行中です。



「見えない障害」とたたかっているあなたへ。 「新しい扉」をノックしませんか？

ノックス葵ではコミュニケーションに重点を置いたプログラムや未体験の仕事に挑戦できる企業実習などの就労支援サービスを提供しています。「得意なこと」「不得意なこと」「やりたいこと」を整理し、自分にあった仕事で長く働けるようサポートします。

プログラム紹介

※事業所内のプログラムの一部です。

【特性理解】

自分の得意・不得意の理解

【模擬就労】

自己理解を踏まえ、自分に合った仕事のしかたを習得

【パソコン講座】

仕事に直結するPCスキルの向上



実績

発達障害などのコミュニケーション課題解決に特化したノウハウにより、一般企業への就職率は全国平均の約2倍！

スタッフ紹介

福祉・企業出身のスタッフが、それぞれの立場で幅広くサポート



ノックス葵の強み

定着支援

キャリアコンサルタント、ジョブコーチなどの有資格者が就職後も支援



uni united unique

株式会社 ユナイテッドユニーク

〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵3丁目12番7号 AMS葵3ビル 2F

地下鉄「車道駅」徒歩2分、「千種駅」徒歩6分

TEL 052-930-5216 Email contact@uni-uniq.com

FAX 052-930-5217 URL <http://www.uni-uniq.com>

knocks 就労移行支援事業所 ノックス葵

就労定着支援事業所 ノックスPLUS knocks*

steps 学生向け就職支援 ステップス

企業の障害者雇用を支援 ハンズ hands

